

総合地球環境学研究所について

平成13年度予算額 439百万円(新規)
平成13年度定員 28人
(教官19人、事務官等9人)

地球環境問題の本質的把握に不可欠な「人間と自然系の相互作用環の解明、この問題の克服につながる「未来可能性」を実現する道筋の探求に関する研究を行い、これらの研究を広く発信することにより、この問題の対応策に関連する学問的基盤形成に資する。

研究活動

地球環境学の確立とその展開を指向して、問題解決型の研究プログラムー研究プロジェクトを遂行するとともに、その成果の統合及び新たな研究プロジェクトの芽となる個別共同研究を推進

『研究プログラム』

- 地球温暖化に伴う気候の急激な変化と生態系・人間社会への影響の解明と将来予測
- 政治システムの変革に代表される価値観の変化や産業・経済活動が及ぼす地球環境への影響評価
- 流域における人間・自然系の相互作用の解明と未来可能性のある社会の構築
- 地球環境変化と人類活動の相互作用による「持続性」と「発展性」の歴史的検証
- 地球環境情報の多次元同化と包括的モデルの開発による統合解析と未来可能性の探求

連携活動

地球環境学に係わる多くの分野、領域を横断する総合的な共同研究を推進するため、関連する大学をはじめ、各省庁や民間、さらに海外研究機関と密接に連携

- 研究活動と組織の活性化を図るための研究者の人的交流
- 研究施設・大型装置・フィールドなどの共同利用
- データ・情報、研究手法等の共有・共用
- 新しい分析技術・観測システムの共同開発

連携活動

研究プロジェクトを中心とした成果は、関連研究者のみならず、広く一般にも分かりやすい情報として発信。また、各研究機関等における研究動向も含め、地球環境学に関する最新情報の収集・提供

- 定期刊行物、関連図書の発刊、インターネット・マルチメディア等による情報発信等
- 国際共同研究プロジェクト等への参画とこれらによる観測・分析等の提供と発信

